

# 第一回應用心理學會の狀況

最近、在京の應用心理學關係者の間に、相互の聯絡協調懇親のために學會設立の議が起り、準備中の處、當番帝大航空心理部主催の下に六月十四日を期して華々しく第一回の會合を新裝成れる駒場帝大航空研究所會議室に開催した。參會者七十六名で盛會であつた。

本會は、應用心理學者及實際家間の懇親研究調査上の聯絡をはかることを主たる目的としてゐるが、第一回の會合には「思想調査法」及「兒童個性調査法」の二者を主題として撰び、其他各種の問題について左記の如く、數氏より説明報告があり、之に對し會員より熱心なる質問討論があつて頗る活況を呈した。

午前十時開會

- 一、挨拶 松本亦太郎
- 一、文部省に於ける壯丁思想調査 青木誠四郎
- 一、職業紹介指導上に於ける興味方向検査 岡部彌太郎
- 一、逕信省從業員の思想調査 淡路圓治郎
- ……中食休憩、所内見學……
- 一、會務報告、次回打合 山極武利
- 一、東京市高等小學校に於ける個性調査法 山根眞住
- 一、中等學校に於ける個性調査法 山根眞住

- 一、個性調査法の一分野 水野常吉
- 一、兒童個性觀察票 淡路圓治郎
- ……小休憩……

- 一、血液型と氣質 松井三雄
- 一、心理學的プロフィールの精神病學臨床診斷上の價值 村松常雄
- 一、精神系病者に於ける複合作業テスト 高峯博

- 一、高年者の一般知能検査の結果 橋覺勝
- ……橋覺、勝懇談會員の自己紹介……

尙此の會合には都下各大學の心理學研究者、醫學者は元より、兒童研究所、職業相談紹介所、東京市内各小學校、陸海軍關係者、逕信省、文部省、司法省、精神病院、感化院、少年刑務所等、應用心理學に關係ある各種團體より多數の參會者を得、極めて有意義且つ前途多望なる會合であつた。

因に次回の會合は十月下旬日本大學心理學教室に於て開かれ、主題は個性調査法の問題を繼續することゝなつた。現在會員は九十四名に及んでゐる。

- 一、目的、應用心理學研究者相互の聯絡提携と懇親協和のために適時會合を催し、兼ねて研究の發表をもなす。
- 一、當分の間毎年春秋二回會合を催す。
- 一、主催幹事は加入せる各大學心理學研究室其他各種研究調査團體の持廻りとする。
- 一、入會には會員一名の紹介に依つて之を認める。
- 一、會費は會合の都度實費を徴收する。